

## 製品安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

#### 【製造者情報】

会社名 : Bona AB  
住所 : Box 210 74  
SE-200 21 MALMO, SWEDEN

電話番号 : +46-(0)40-38 55 00

#### 【輸入者情報】

会社名 : 株式会社オカベ  
住所 : 〒939-1701 富山県南砺市遊部151-3  
責任者名 : 岡部 学 作成者 : 岡部 学  
電話番号 : 0763-55-6940 FAX番号 : 0763-52-4038  
作成 : 平成 26年 8月 7日  
製品名 : **Bonaウェーブ主剤**  
製品説明 種類 : 2液型水性ウレタン塗料の主剤  
主な用途 : 屋内のフローリング床の塗装

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理化学的危険性 : 該当区分なし  
健康に対する有害性 : 該当区分なし  
環境に対する有害性 : 該当区分なし

#### GHSラベル要素

絵表示またはシンボル : なし  
注意喚起語 : なし  
危険有害性情報 : なし

### 注意書き

#### [安全対策]

- 取扱い後は、手をよく洗うこと。
- 保護手袋および保護眼鏡、保護面を着用すること。

#### [救急処置]

- 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合は外して洗うこと。その後も洗浄を続けること。
- 眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
- 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
- 皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。
- 気分が悪いときは医師に連絡すること。

## [保管]

- ・換気のよい場所で保管すること。涼しいところにおくこと。(P403+P235)

## [廃棄]

- ・内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

## 3. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区別： 混合物

危険な含有成分：

成分名	CAS	重量%	特記事項
対象物質なし			

- ・環境ホルモン疑惑物質

環境省「内分泌攪乱作用を有すると疑われる化学物質（65物質）を使用していない。

## 4. 応急措置

吸入した場合：被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。気分が悪い時は医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚を流水またはシャワーで洗うこと。皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

目に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。異常を感じる場合は医師に連絡すること。

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師に連絡すること。気分が悪い時は医師に連絡すること。

予想される急性症状及び遅発性症状：データなし

最も重要な兆候及び症状：データなし

応急措置をする者の保護：データなし

医師に対する特別注意事項：データなし

## 5. 火災時の措置：

消火剤：泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素、乾燥砂

使ってはならない消火剤：棒状放水、噴霧水

特有の危険有害性：熱、火花及び火炎で発火するおそれがある。激しく加熱すると燃焼する。火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法：危険でなければ火災区域から容器を移動する。容器が熱に晒されているときは、移さない。安全に対処できるならば着火源を除去すること。

消火を行う者の保護：適切な空気呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する。

## 6. 漏出の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置：直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として

隔離する。関係者以外の立入りを禁止する。立ち入る前に、密閉された場所を換気する。全ての着火源を取り除く。

環境に対する注意事項：環境中に放出してはならない。

回収・中和：不活性材料（例えば、乾燥砂又は土等）で流出物を吸収して、化学品廃棄容器に入れる。

封じ込め及び浄化方法・機材：危険でなければ漏れを止める。

二次災害の防止策：すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

技術的対策：『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気：『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。

安全取扱い注意事項：データなし

接触回避：データなし

### 保管

技術的対策：消防法の規制に従う。

混触危険物質：データなし

保管条件：容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。施錠して保管すること。火気厳禁。

容器包装材料：データなし・子どもの手の届かないところに保管する。

## 8. 暴露防止措置

管理濃度：未設定

許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）

日本産衛学会（2007年版）：未設定

A C G I H（2007年版）：未設定

設備対策：この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。ばく露を防止するため、装置の密閉化又は局所排気装置を設置すること。

### 保護具

呼吸器の保護具：適切な呼吸器保護具を着用すること。

手の保護具：適切な保護手袋を着用すること。

眼の保護具：適切な眼の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具：適切な保護衣を着用すること。

衛生対策：取扱い後はよく手を洗うこと。

## 9. 製品の物理／化学的性質

### 物理的状态

外観 : 乳白色半透明液体

pH : 8

引火点 : 測定限界以上

燃焼点 : 測定限界以上

比重（20℃） : 1.04  
沸点 : 100℃  
溶媒に対する溶解性 : 水に容易に分散する。

#### 10. 安定性及び反応性

安定性：法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる。

危険有害反応可能性：データなし

避けるべき条件：データなし

混触危険物質：データなし

危険有害な分解生成物：データなし

#### 11. 有害性情報

入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

NITEの混合物GHS分類データベースで「該当区分なし」。

#### 12. 環境影響情報

入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

水生環境有害性（急性）：NITEの混合物GHS分類データベースで「該当区分なし」

水生環境有害性（慢性）：NITEの混合物GHS分類データベースで「該当区分なし」

#### 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：

廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

汚染容器及び包装：

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

#### 14. 輸送上の注意

国連分類：なし

航空輸送は、IATA規則の規定による。

----- 海上輸送もしくは航空輸送を行う場合は以下の情報を輸送会社にお渡し下さい。 -----

#### IMDG

UN number : Not regulated.  
UN proper shipping name : -  
Class : -  
Transport hazard class(es)  
Subsidiary risk : None  
Label(s) : -  
Packing group : -  
Environmental hazards  
Marine pollutant : No

<b>EmS</b>	:	-
<b>Special precautions for user</b>	:	Transport within user's premises: always transport in closed containers that are upright and secure. Ensure that persons transporting the product know what to do in the event of an accident or spillage.
<b>Transport in bulk according to Annex II of MARPOL 73/78 and the IBC Code</b>	:	Not applicable.

**IATA**

<b>UN number</b>	:	Not regulated.
<b>UN proper shipping name</b>	:	-
<b>Class</b>	:	-
<b>Transport hazard class(es)</b>	:	-
<b>Subsidiary risk</b>	:	None
<b>Label(s)</b>	:	-
<b>Packing group</b>	:	-
<b>Environmental hazards</b>	:	No
<b>Special precautions for user</b>	:	Transport within user's premises: always transport in closed containers that are upright and secure. Ensure that persons transporting the product know what to do in the event of an accident or spillage.

## 1 5. 適用法令

毒物及び劇物取締法	:	該当しない
化学物質管理促進法（P R T R法）	:	該当しない
労働安全衛生法		
通知対象物質	:	該当しない
表示物質	:	該当しない
有機溶剤中毒予防規則	:	該当しない
特定化学物質等障害予防規則	:	該当しない
消防法	:	該当しない
危険物船舶輸送及び貯蔵規則	:	該当しない
悪臭防止法	:	該当しない
水質汚濁防止法	:	該当しない

## 1 6. その他の情報

## 主な参考文献

- ・ 独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE） 公表データ
- ・ 社団法人日本塗料工業会 GHS対応 MSDS・ラベル作成ガイドブック〔混合物（塗料用）〕
- ・ 社団法人日本塗料工業会 モデルMSDS・モデルラベル事例集〔混合物（塗料用）〕
- ・ 国際化学物質安全カード（ICSC）

## 【 注意 】

本データシートの記載内容は、最善の調査に基づいて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、また、記載のデータの評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。

混合物に使用している化学製品には未知の有害性が有り得るため、取り扱いには最新の注意が必要です。

当製品安全データシートは、日本国内法規を基準に作成したものです。